

◆男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

(令和1年度第2回)

議 事 録

2020年3月3日(火)開催

| 時 間       | 15:00～17:00 |           |  | 場 所 | 地盤工学会会議室  |     |
|-----------|-------------|-----------|--|-----|-----------|-----|
| 浅田 委員長    | ○           | 北田 委員     |  | Web | 平永 委員     | ○   |
| 藤原 委員     | ○           | 熊野 委員     |  | ○   | 清木 委員     | ○   |
| 藤澤 委員     | ×           | 澤田 委員     |  | Web | 中本 委員     | ○   |
| 佐藤 委員     | ×           | 亀村 オブザーバー |  | ×   | 高原 オブザーバー | Web |
| 山口 オブザーバー | ×           |           |  |     |           |     |

○：出席 ×：欠席 △：未定

議事録担当の選出

熊野委員(01-2)

議事録担当：熊野

【委員会構成の確認】

【別紙 - 1】 pp. 2

・委員会構成が浅田委員長よりあった。所属等の変更がある場合は報告するように依頼があった。

【前回議事録の確認】

【別紙 - 2】 pp. 3-5

・前回議事録(2019年9月25日 Web 審議)の確認が浅田委員長よりあったのち、参加された委員より承認された。

【審議事項】

1. 委員会 担当一覧(浅田委員長・北田委員・高原委員)

【別紙 - 3】 pp. 6

- ・浅田委員長より、2019年度の委員会担当の提案があった。
- ・技術者紹介 web 版

5年前に冊子を作成し、好評であったことから、毎年3～4カ月に1回HP上にて刊行している。担当者がスケジュールや執筆・査読依頼を実施し、査読は、全員が各グループを組んで査読する。メールベースでの作業になることから、地方で活動する熊野・高原委員で進める。昨年、担当であった藤澤委員にオブザーバーに入っていたいただきたい。以前の委員が作成した作業シートを踏襲して、熊野を主担当とし、高原委員・浅田委員長で担当することで了承を得た。

・男女共同参画学協会

男女共同参画は都内のメンバーが交代で担当することで了承を得た。浅田委員長・佐藤委員・中本委員で日程が合うメンバーに参加してもらい、随時、委員会にて報告していただく。

近々に法人化することが決定している。方針や参加費用次第で、今後の拘わり方を変える必要があり、引き続き静観する予定である。

・サポーターメール 内閣府リコチャレ

リコチャレはメールが来たときに必要があれば報告をし、学会のイベントも登録している。

サポーターメールはイベントや技術者案内をUPする度に送信している。引き続き藤原委員が対応することで了承を得た。

2. 2020 地盤工学研究発表会(浅田委員長・北田委員・平永委員)

【別紙 - 4】 pp. 7-17

- ・7月21日の午後に会場を予約している。
- ・京大・高井先生と話し合い、場所は展示スペースで50席程度になる予定である。
- ・今回は特別セッションとワールドカフェwを繋げて実施する。前振りの話題提供を30分で、ワールドカフェ1時間半にして、話し合いの時間を長くする。

- ・今回の課題については「各組織のダイバーシティ促進状況の確認」である。

これまでの座談会やワールドカフェで、都市や地方の組織そして大小様々な組織があり、女性が少ない組織ではまだまだ孤軍奮闘している状況にあることが分かった。他の組織の制度との乖離を可視化することで、上司などに掛け合いやすいとの意見が挙がった。そこで、業界全体のダイバーシティを実現するためには、各組織のダイバーシティの現状を可視化することが本委員会の役割であることが認識された。土木学会でも同じような認識であり、平永委員から、具体的な先行事例として土木学会ダイバーシティ委員の昨年 11 月に開催された D&I week の報告があった。本イベントでは話題提供の一環として、「女性の活躍推進企業データベース」を参考にポスターを作成した。本データベースで様々な社内制度が登録されており、色々なダイバーシティに関する認定を受けている会社がある。同様な方法を用いて本学会内で実施しようと考えているのだが、法人会員 900 社あり、建設業・運輸業等と多岐に渡ることから、全て網羅するのは難しいと考える。高原委員より、認定を取得するのが困難なものに絞ると、会社も限定されるから整理し易いのではないかと意見が上がった。ひとまず、土木学会でのイベントを参考に、浅田委員長・平永委員・北田理事で話し合ってください。以上の方法で、纏めたものを全国大会の話題提供に用いる。

- ・全国大会は浅田委員長・熊野・澤田委員が中心となって担当することが了承された。

#### 【その他の内容に関する意見】

- ・課題に当てはまる人をどう集めるか。声掛けをする人の選定が重要になる。
- ・いつも女性の意見を聞く形になってしまうが、男性の意見も聞きたい。
- ・声掛けをする該当者は、社内でダイバーを推進しないとイケない立場の方(上司側)の意見も聞きたい。
- ・それぞれの立場が違うので発言が飛ぶ。カフェ形式なのでそれでも良いが、今回は目的が明確なので一回纏めてみるのもいいかもしれない。
- ・今回のコロナ対策を各企業でどのようにやってきたかなどを例にすると、職場同士の差異がでて認識し易いのではないかと。
- ・前回の特別セッションのように紅白のうちわを使って発言しやすいよう工夫するものいいかもしれない。
- ・その場にて質問が出るのが理想だが、事前をお願いをしてサクラも入れる必要がある。

### 3. 夏学への対応（浅田委員長・北田委員・平永委員）

夏の学校は昨年参加しなかった。一昨年ポスター、その前実験、それ以前ポスターで複数回参加している。片岡前委員長より、関東在住の委員の負担が大きいので、今後の実施を話し合っしてほしいと引継ぎがあった。

平永委員より、参加人数は 150 人程度だが、全国から集まっており、参加者が各学校に戻ってから報告会で発表したりや感想文を提出していることから、草の根運動としては必要と考える。さらに、土木学会では複数の委員会でも回しており、グッズも企業様より提供している。よって、本委員会だけで回すには負担が大きいことから、継続する場合は、体制を整える必要があると提案された。

そこで、浅田委員長より他の委員会に声をかけることが了承された。

### 4. 委員会 HP の改定作業（浅田委員長・北田委員）

【別紙 - 5】 pp. 18-23

- ・コンテンツは充実しているが、順番やリンクなどを確認する必要がある。
- ・伊佐治様のお仕事量の負担にならないよう、委員長と話し合いながら遂行する。
- ・技術者紹介 web 版と内容が重複するため、熊野が担当することが了承された。

### 5. ダイバーシティ減免措置のレビュー（浅田委員長・北田委員）

【別紙 - 6】 pp. 24-31

- ・減免制度が始まって 10 年が経過しており、理事会で継続かどうかの議論が出ている。
- ・これまでに、全国大会の支部連絡本部会議や理事会でも解析してきた内容を報告はしてきてきた。これまでの解析方法を踏襲して、2019 年度版のデータを加えて浅田委員長が報告する予定である。近年の地盤工学会の運営は予算的に厳しい状況にある。会長の代替わりもあり、会費減免の変更案も出ている中、今後はトップダウンで減免制度がなくなる or 変更される可能性もある。一方で、会員数の減少傾向も現実として続いている。

- ・30代女性まで減免するほど踏み入ったことを実行している学会は少ない。現段階では成果に至っているかは不明で、具体的には「20代半額で会員を引き留められている」「30代女性半額で正会員に戻っている」等の明確なデータがあると良い。対象者が偏っているという指摘もあり、「昨今の社会風潮から子育て等の男女関係なくなっているおり、女性会員に限定した制度でよいのか」「介護休職者も対象とするか」なども上がっており、今後も議論が必要である。

6. 次回開催日の確認： 2020年5月

- ・次回5月19日火曜日，15:00～17:00，地盤工学会で実施の予定。

以上